



丸岡城天守



大善寺金銅孔雀文磬

坂井市の文化財



観音院木造如意輪観音菩薩坐像



目次

文化財の種類	P1,2
有形文化財マップ	P3,4
有形文化財 解説	P5～P10
有形民俗文化財・史跡・天然記念物マップ	P11,12
有形民俗文化財・史跡・天然記念物 解説	P13～P16
無形民俗文化財マップ・解説	P17,18

文化財の種類

◆有形文化財

建造物、絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書などで歴史上又は芸術上価値の高いものや考古資料やその他の学術上価値の高い歴史資料を指します。

有形文化財は「建造物」と、それ以外の「美術工芸品」に大別します。

◆無形文化財

演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で歴史上又は芸術上価値の高いものを無形文化財と呼びます。個人もしくは団体によって行われる「わざ」を指定します。

◆民俗文化財

衣食住・生業・信仰・年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術やこれらに用いられる衣服、器具、家屋などで、生活の推移の理解のため欠くことのできないものを民俗文化財と呼びます。

民俗文化財は、習慣・芸能・技術等を指定する「無形民俗文化財」と、それに用いられる衣服・器具・家屋等を指定する「有形民俗文化財」に大別します。

◆記念物

史跡（貝塚・古墳・都城跡・城跡・旧宅など）で歴史上または学術上価値の高いものや、庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳などの名勝地で芸術上または鑑賞上価値が高いもの、動植物、地質、鉱物で学術上価値が高いものを記念物として指定します。

◆文化的景観

地域における人々の生活や生業、地域の風土により形成された景観地で、人々の生活や生業を理解する上で欠く事のできないものを指定します。

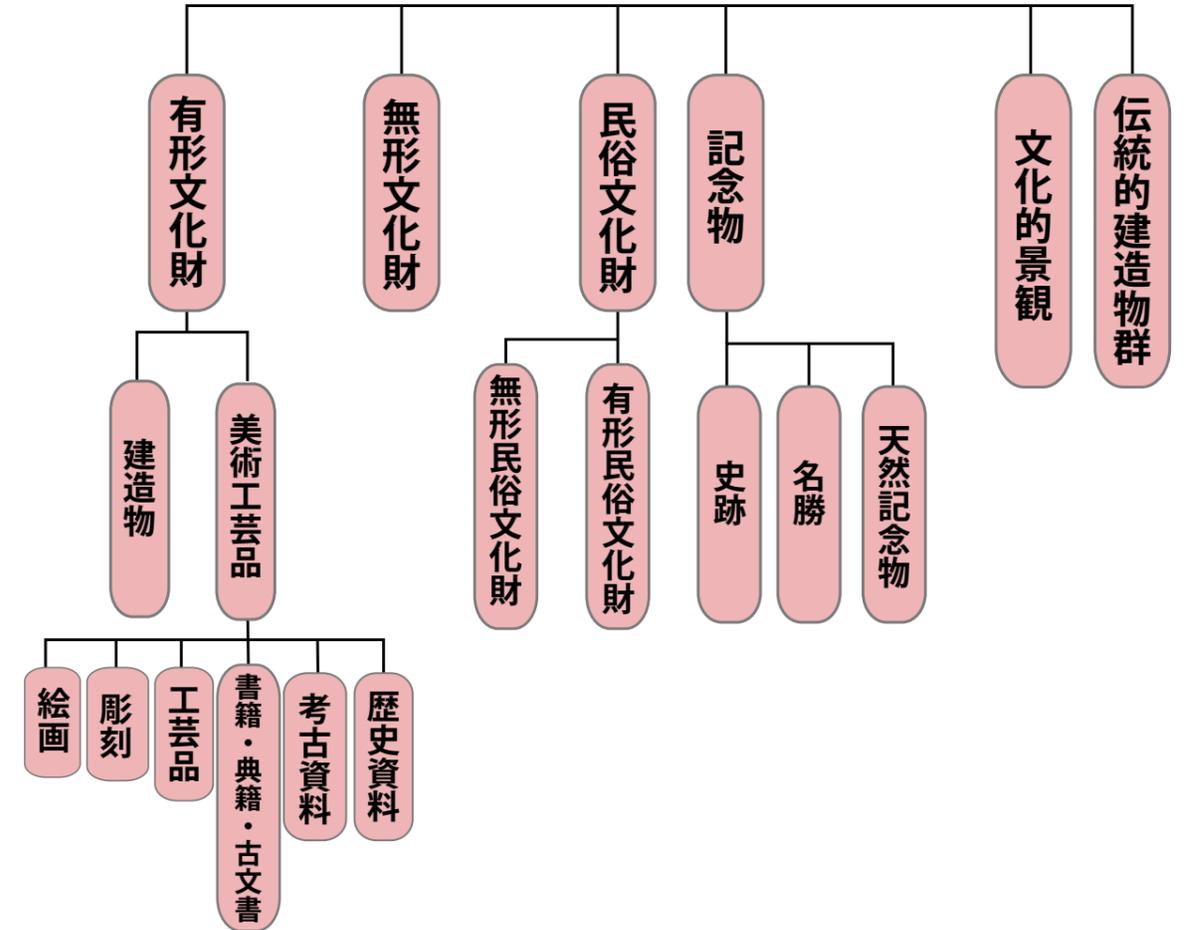
◆伝統的建造物群

周囲の環境と一体となっている伝統的な建造物群で価値の高いものを指定します。

指定の区分

文化財の指定には、国が指定するもの（有形文化財は重要文化財、その他は重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財、史跡、名勝・天然記念物）、県が指定するもの（県指定文化財）、市が指定するもの（市指定文化財）、国が登録するもの（国登録文化財）、市が登録するもの（市登録文化財）があります。また、国が指定している文化財の中で特に重要なものを国宝、特別史跡、特別名勝、特別天然記念物に指定します。

文化財の種類



坂井市内の指定・登録文化財数

平成 27 年 2 月現在

区分	国		県指定	市		合計
	指定	登録		指定	登録	
国宝	1					1
重要文化財	9					9
有形文化財		10	17	32	3	62
有形民俗				1		1
無形民俗			5	6		11
史跡	2		3	12	3	20
名勝・天然記念物	3	1	3	6		13
合計	15	11	28	57	6	117

※名勝・天然記念物の件数は、天然記念物（動物）を除いた件数です

有形文化財マップ



番号	文化財名 (複数の場合は保管場所及び主な文化財名)	所在地	解説
①	御嶽神社本殿	三国町 浜地 御嶽神社	P5
②	大湊神社 (大湊神社本殿・拜殿・木造伊邪奈岐命ほか)	三国町 安島 / 雄島 大湊神社	P5
③	西野家住宅	三国町 安島	P5
④	米ヶ脇西光寺四脚門・鐘楼	三国町 米ヶ脇 西光寺	P5
⑤	三国港 (旧阪井港) 突堤	三国町 宿	P5
⑥	春日神社木造神像	三国町 宿 春日神社	P5
⑦	眼鏡橋	三国町 宿	P5
⑧	瀧谷寺 (金銅宝相華文磬・瀧谷寺鎮守堂・天之凶ほか)	三国町 滝谷 瀧谷寺	P6
⑨	みくに龍翔館 (袈裟禪文銅鐸・寄安道場関連資料)	三国町 緑ヶ丘 みくに龍翔館	P6
⑩	魚志楼	三国町 神明	P6
⑪	金鳳寺木造聖観音菩薩立像	三国町 北本町 金鳳寺	P7
⑫	坂井家住宅	三国町 北本町	P7
⑬	旧岸名家住宅主屋	三国町 北本町	P7
⑭	旧森田銀行本店	三国町 南本町	P7
⑮	松ヶ下区山車屋台	三国町 南本町	P7
⑯	下西区山車屋台	三国町 南本町	P7
⑰	絹本著色地藏菩薩像	三国町 南本町 性海寺	P7
⑱	中元区山車屋台	三国町 山王	P7
⑲	木造新井白石胸像	三国町 山王 三国南小学校	P7
⑳	妙海寺石造千手観音菩薩立像	三国町 山王 妙海寺	P7
㉑	紙本淡彩神農図 (山田道安筆)	三国町 南本町	P7
㉒	森田家文書	三国町 山王	P7
㉓	三國神社 (隨身門・木立神社奉納太刀銘守次ほか)	三国町 山王 三國神社	P8
㉔	称名寺 (絹本著色聖徳太子絵伝・称名寺木造聖徳太子像)	三国町 黒目 称名寺	P8
㉕	木造阿弥陀如来坐像	坂井町 東荒井 春日神社	P8
㉖	清永白山神社石造九重塔	坂井町 清永 白山神社	P8
㉗	金銅孔雀文磬	坂井町 下兵庫 大善寺	P8
㉘	板碑	春江町 井向 白山神社	P8
㉙	石造六重層塔 (下小森)	春江町 下小森 信社王神社	P9
㉚	石塚神社岩座	春江町 石塚 石塚神社	P9
㉛	高江住吉神社板碑	春江町 高江 住吉神社	P9
㉜	中庄神明神社石造多層塔	春江町 中庄 神明神社	P9
㉝	石造六重層塔 (針原)	春江町 針原 八幡神社	P9
㉞	観音院 (木造如意輪観音菩薩坐像・観音院の門)	春江町 本堂 観音院	P9
㉟	称念寺 (絹本著色他阿上人真教像・朝倉系図ほか)	丸岡町 長崎 称念寺	P10
㊱	赤坂白山神社板碑	丸岡町 赤坂 白山神社	P10
㊲	丸岡城 (丸岡城天守・牛ヶ島石棺)	丸岡町 霞町	P9
㊳	絹本著色白山参詣曼荼羅図	丸岡町 石城戸 國神神社	P10
㊴	豊原地蔵菩薩立像	丸岡町 豊原	P10
㊵	上金屋八幡神社石造多層塔	丸岡町 上金屋 八幡神社	P10
㊶	坪川家住宅	丸岡町 上竹田	P10

①御嶽神社本殿

指定：市指定 建造物
所在：三国町浜地御嶽神社

覆屋内にある、桁行 1.52m、梁間 1.34m の流造の本殿です。室町時代の建築と考えられています。



③西野家住宅

指定：市指定 建造物
所在：三国町安島

明治時代の三国の漁家で、医学者石森国臣の生家です。保存状態が良好で、主屋と土蔵が一括で指定を受けています。



②大湊神社所有の指定文化財

文化財名（指定）

1. 大湊神社本殿・拝殿（県指定 建造物）
2. 木造神像伊邪奈岐命（県指定 彫刻）
3. 大湊神社木造女神坐像（市指定 彫刻）
4. 大湊神社木造神像（市指定 彫刻）
5. 大湊神社獅子頭（市指定 彫刻）

所在：三国町安島・雄島

1, 福井藩 2 代藩主松平忠直が願主となり、元和 7 年（1621）に造立しました。本殿と拝殿がそれぞれ指定を受けています。

2, 一木造り、檜材の神像で、平安時代後期の作品です。彩色がわずかに残っています。

3, 寄木造り、檜材の女神像です。像高は 58.2cm あり、作風から鎌倉時代の作と考えられています。

4, 男女の神像四体です。いずれも檜材で、大きな目を特徴とします。平安時代末期に同一の作者が作ったと考えられています。

5, 幅約 35cm、奥行き約 35cm、高さ約 30cm の高麗狗型の獅子頭で、彩色がされています。詳しい時期は不明ですが、作風から室町時代の作の可能性ががあります。



1, 大湊神社本殿・拝殿



2, 木造伊邪奈岐命



3, 大湊神社木造女神坐像



4, 大湊神社木造神像



5, 大湊神社獅子頭

⑧瀧谷寺所有の指定文化財

文化財名（指定）

1. 瀧谷寺鎮守堂（国重要文化財 建造物）
2. 石造瀧谷寺開山堂（県指定 建造物）
3. 瀧谷寺 本堂・観音堂・方丈および庫裏・山門（鐘楼門）・新殿（客殿）（県指定 建造物）
4. 絹本着色地藏菩薩像（国重要文化財 絵画）
5. 金銅宝相華文磬（国宝 工芸品）
6. 天之図（星図）（国重要文化財 歴史資料）
7. 瀧谷寺文書・聖教（県指定 古文書）

所在：三国町瀧谷

1, 室町時代に作られた、正面 1.31m、側面 1.38m の三間社流造の本殿です。ベンガラで全体が赤く塗られています。

2, 地元の豪族堀江氏が、元亀 3 年（1572）に建立した、桁行 3.3m、梁間 2.5m の石造の珍しいお堂で、内壁に石仏が彫刻されています。

3, 江戸時代中期の越前の真言寺院を代表する伽藍が残っています。また、新殿は大正時代のもので、県内の近代和風建築の代表例の一つで、一括で指定を受けています。

4, 鎌倉時代末期の作と考えられています。青蓮華座に座し半跏する地藏菩薩の姿が描かれています。

5, 磬は叩いて音を出す仏具です。平安時代後期の作で、中央に蓮華文が、周囲は宝相華文（唐草文の一種）が施されています。

6, 室町時代の日本最古の天文星図です。上段に星座・星を詠んだ漢詩「歩天歌」が、下段は星宿図が描かれています。

7, 寺に伝存する南北朝時代～明治時代の古文書 1518 点、聖教 699 点が指定を受けています。



1, 瀧谷寺鎮守堂



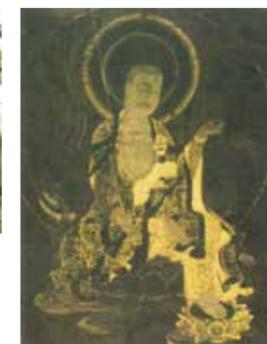
2, 瀧谷寺開山堂



3, 瀧谷寺 本堂・観音堂・方丈および庫裏・山門（鐘楼門）・新殿（客殿）



5, 金銅宝相華文磬
「古利 瀧谷寺」より転載



4, 絹本着色地藏菩薩像
「古利 瀧谷寺」より転載



6, 天之図（星図）
「古利 瀧谷寺」より転載



7, 瀧谷寺文書・聖教

※ P13、③にも解説あり

④米ヶ脇西光寺四脚門・鐘楼

指定：市指定 建造物
所在：三国町米ヶ脇西光寺

四脚門、鐘楼ともに江戸時代前期に作られたと考えられています。ともに一辺約 3.5m の木造建造物で、一括で指定を受けています。



⑤三国港（旧阪井港）突堤

指定：国重要文化財 建造物
所在：三国町宿

オランダ人技師エッセルの設計、デ・レイケの工事指導による防波堤と導流堤の役割を兼ねた突堤で、明治 15 年（1882）に完成しました。



⑥春日神社木造神像

指定：市指定 彫刻
所在：三国町宿春日神社

3 体の男女の神像です。いずれも桧材を使った寄木造りの作品です。鎌倉時代に同一の作者が作ったと考えられています。



⑦眼鏡橋

指定：国登録 建造物
所在：三国町宿

えちぜん鉄道三国芦原線三国港駅付近にある橋です。れんが造の「ねじりまんぼ」と呼ばれる珍しい技法が使われています。



⑨みくに龍翔館所有の指定文化財

文化財名（指定）

1. 袈裟褌文銅鐸（県指定 考古資料）
2. 寄安道場関連資料（市指定 歴史資料）

所在：三国町緑ヶ丘

1, 大正 13 年（1924）に三国町米ヶ脇で発見された銅鐸です。弥生時代中期のもので、袈裟褌文で 4 つに区画されています。

2, 春江町寄安の道場に伝わる浄土真宗関係の資料で、親鸞や蓮如の筆と伝えられる名号も含まれています。



1, 袈裟褌文銅鐸



2, 寄安道場関連資料

⑩魚志楼

指定：国登録 建造物
所在：三国町神明

明治初期の建物で、料亭として使われています。三国の町屋を代表する建て方である「かぐら建て」の主屋と、西蔵・東蔵・奥屋敷があります。



⑪ **金鳳寺木造聖観音菩薩立像**

指定：市指定 彫刻
所在：三国町北本町金鳳寺

金鳳寺観音堂に安置されている寄木造り、桧材の仏像です。鎌倉時代の作と考えられ、像高は106.3cmあります。



⑫ **坂井家住宅**

指定：国登録 建造物
所在：三国町北本町

明治初期に建てられた「かぐら建て」の町家です。主屋・土蔵一式が古い形をとどめており、側面から「かぐら建て」の形がよく分かります。



⑬ **旧岸名家住宅主屋**

指定：国登録 建造物
所在：三国町北本町

幕末の木造建築で、切妻造り妻入の前方に、平入の表屋(2階家)を付けた「かぐら建て」と呼ばれる伝統的な技法が使われています。



⑭ **旧森田銀行本店**

指定：国登録 建造物
所在：三国町南本町

森田銀行の新店として、大正8年(1919)に造られた、鉄筋コンクリート2階建ての建築です。



⑮ **三國神社所有の指定文化財**

文化財名(指定)

1. 三國神社隨身門(県指定 建造物)
2. 木立神社奉納太刀銘守次(県指定 工芸品)
3. 三國神社木造神馬像(市指定 彫刻)
4. 三國神社拜殿向拝の群猿像(市指定 彫刻)
5. 木立神社立願文(県指定 歴史資料)

所在：三国町山王

1, 参道の正面にある、正面8.18m、側面4.62m、棟高12.41mの楼門です。明治3年(1870)に建てられました。

2, 明治7年(1874)、元福井藩主松平慶永が木立神社立願に際し奉納した、長さ約90cmの小太刀です。刀は南北朝期の作と考えられ、鞘や鍔など随所に三葉葵が施されています。

3, 神馬堂に納められている、全長1.8mの木馬像です。明治元年(1868)に福井藩の御用職人、島雪斎によって作られました。

4, 拜殿向拝の梁の上に彫られた10匹の猿の彫刻です。江戸時代後期に三国工芸の基礎を築いた志摩乗時の作です。

5, 元福井藩主松平慶永が、明治7年(1874)に寿像と太刀を奉納した際、自ら神に願をかけるために書いた文章です。



1, 三國神社隨身門



3, 三國神社木造神馬像



2, 木立神社奉納太刀銘守次



4, 三國神社拜殿向拝の群猿像



5, 木立神社立願文

⑯ **称名寺所有の指定文化財**

文化財名(指定)

1. 絹本着色聖徳太子絵伝(県指定 絵画)
2. 称名寺木造聖徳太子像(市指定 彫刻)

所在：三国町黒目

1, 南北朝時代の作で、聖徳太子の生誕から逝去に至るまでの事績を、年齢別に配列した絵画6幅です。

2, 上半身裸身の童形の聖徳太子像です。像高69cm、寄木造り、桧材の仏像です。製作年代は鎌倉~南北朝時代と考えられています。



1. 絹本着色聖徳太子絵伝「極楽・北陸の浄土美術」より転載



2. 称名寺木造聖徳太子像

⑰ **松ヶ下区山車屋台**

指定：市指定 工芸品
所在：三国町南本町

三国祭に使われる山車です。上段の高欄は紫檀で、彫刻は幕末の三国彫りの彫刻師、志摩鴻斎の作品です。



⑱ **下西区山車屋台**

指定：市指定 工芸品
所在：三国町南本町

三国祭に使われる山車です。江戸時代後期に三国彫りの彫刻師一派である志摩派の彫刻師が彫った作品です。



⑲ **絹本着色地蔵菩薩像**

指定：国重要文化財 絵画
所蔵：三国町南本町性海寺

鎌倉時代の作品で、青蓮の座を踏み分け、白雲の上に立ち、視線を心もち右手に送る地蔵菩薩の端麗な姿が描かれています。

※ P13、④にも解説あり



⑳ **中元区山車屋台**

指定：市指定 工芸品
所在：三国町山王

三国祭に使われる山車です。幕末の三国を代表する塗師、井田一洞斎の作品で、螺鈿を散りばめた漆塗が特徴です。



㉑ **木造新井白石胸像**

指定：市指定 彫刻
所在：三国町山王三国南小学校

像高50cmの褐色漆塗り、寄木造りの胸像です。三国で育った明治時代を代表する彫刻師山田鬼斎の作品です。



㉒ **妙海寺石造千手観音菩薩立像**

指定：市指定 彫刻
所在：三国町山王妙海寺

凝灰岩で作られた、像高137cmの石像です。刻銘から天正16年(1588)に作られたことが分かっています。



㉓ **紙本淡彩神農図(山田道安筆)**

指定：県指定 絵画
所在：三国町南本町

室町時代の絵師山田道安の作です。神農は、中国の医学と農業を司る神といわれ、古来薬種家の守護神と敬われました。



㉔ **森田家文書**

指定：市指定 古文書
所在：三国町山王

三国湊の豪商であった、森田家に残る文書です。信長・秀吉・家康など、当時の権力者の文書もあり、森田家の当時の隆盛が伺えます。



㉕ **木造阿弥陀如来坐像**

指定：県指定 彫刻
所在：坂井町東荒井春日神社

鎌倉時代に作られた、像高85.2cmの仏像です。全体に黒漆が施された黒い像のため、「黒仏」とも呼ばれています。



㉖ **清永白山神社石造九重塔**

指定：市指定 建造物
所在：坂井町清永白山神社

高さ3.3mの塔です。刻銘から、天文18年(1549)に、藤泰兵衛が願主となり作ったことが分かっています。



㉗ **金銅孔雀文磬**

指定：国重要文化財 工芸品
所在：坂井町下兵庫大善寺

磬は、叩いて音を出す仏具です。表面には一対の孔雀が彫刻され、裏面には「建長三年辛亥四月日(1251)と銘があります。



㉘ **板碑**

指定：県指定 歴史資料
所在：春江町井向白山神社

板碑は中世の供養塔です。本碑は、刻銘から文永11年(1274)に作られたことが分かっています。また、碑には「阿弥陀三尊」を表す梵字が刻まれています。



せきぞうろくじゆうそうとう しもこもり
②9 石造六重層塔 (下小森)

指定：市指定 建造物
所在：春江町下小森信社王神社

凝灰岩で作られた、高さ2.24mの塔です。塔の特徴から、鎌倉時代に建てられたと考えられています。



いしづかじんじやいわくら
③0 石塚神社岩座

指定：市登録 歴史資料
所在：春江町石塚石塚神社

礫質砂岩の巨石です。この岩座はかつて神道考古学者大場磐雄氏によって古代岩座と紹介されました。



たかえ すみよしじんじやいたび
③1 高江住吉神社板碑

指定：市指定 歴史資料
所在：春江町高江住吉神社

住吉神社の境内にある笏谷石製の板碑2基です。刻銘から、ともに中世のものと分かり、大日如来を表す梵字が刻まれています。



なかのしょうしんめいじんじやせきぞう た そうとう
③2 中庄神明神社石造多層塔

指定：市登録 建造物
所在：春江町中庄神明神社

高さ1.18mの笏谷石製の塔の残欠で、磯部川の工事の際に出土しました。塔の形から、鎌倉時代に作られたものの一部と考えられています。



※ P13、⑦にも解説あり

せきぞうろくじゆうそうとう はりばら
③3 石造六重層塔 (針原)

指定：市指定 建造物
所在：春江町針原八幡神社

凝灰岩で作られた、高さ1.86mの塔です。塔の特徴から、鎌倉時代に建てられたと考えられています。



かんのんいんしょうゆう していぶん かざい
③4 観音院所有の指定文化財

文化財名 (指定)

1. 木造如意輪観音菩薩坐像 (県指定 彫刻)

2. 観音院の門 (市指定 建造物)

所在：春江町本堂

1. 鎌倉時代に作られた、寄木造りの仏像です。如意輪観音菩薩像ではまれに見る大きさで、像高は162.1cmあります。

2. 唐破風の屋根を持つ一間一戸の平唐門で、朱が塗られています。この門は福井城三の丸にあった東照宮唐門の可能性が高いと考えられています。



1. 木造如意輪観音菩薩坐像



2. 観音院の門

あかさかはくさんじんじやいたび
③6 赤坂白山神社板碑

指定：市指定 歴史資料
所在：丸岡町赤坂白山神社

鎌倉時代の1294年に作られた自然石の板碑です。不動明王を表す梵字と紀年銘、願主名などが刻まれています。



かすみ がじょうこうえんない していぶん かざい
③7 霞ヶ城公園内の指定文化財

文化財名 (指定)

1. 丸岡城天守 (国重要文化財 建造物)

2. 牛ヶ島石棺 (市指定 考古資料)

所在：丸岡町霞町

1. 天正4年(1576)、柴田勝家の甥勝豊が築いた二重三階望楼型独立式の木造天守で、現存する最古の天守閣です。屋根には石瓦が葺かれています。

2. 丸岡町牛ヶ島の東方の古墳より出土したと伝えられる、火山礫凝灰岩の舟形石棺です。



1. 丸岡城天守



2. 牛ヶ島石棺

しょうねん じしよゆう していぶん かざい
③5 称念寺所有の指定文化財

文化財名 (指定)

1. 絹本着色他阿上人真教像 (国重要文化財 絵画)

2. 称念寺木造阿弥陀三尊立像 (市指定 彫刻)

3. 卷子本浄土三部経 (県指定 書籍・典籍・古文)

4. 朝倉系図 (市指定 古文書)

5. 紙本墨書称念寺縁起 (市指定 古文書)

6. 称念寺所蔵勅書・繪旨 (市指定 古文書)

7. 称念寺石造多層塔 (市指定 建造物)

所在：丸岡町長崎

1. 踊り念仏で有名な時宗の二祖、他阿真教の肖像です。鎌倉時代の作品で、現存する最古の上人像です。



1. 絹本着色他阿上人真教像



2. 称念寺木造阿弥陀三尊立像



4. 朝倉系図



3. 卷子本浄土三部経



6. 称念寺所蔵勅書・繪旨



5. 紙本墨書称念寺縁起



7. 称念寺石造多層塔

※ P14、⑫にも解説あり

けんぼんちゃくしよくはくさんさんけいまん だんら ず
③8 絹本着色白山参詣曼荼羅図

指定：県指定 絵画
所在：丸岡町石城戸國神社

室町時代の作品で、平泉寺の景観、神像、白山各山頂の社殿・諸堂舎および、越前禅定道から山頂を目指す修行者が描かれています。



とよはら じ ぞう ぼさつりゆうぞう
③9 豊原地蔵菩薩立像

指定：市指定 彫刻
所在：丸岡町豊原

江戸時代に作られた像高2.1mの地藏菩薩です。袈裟や向背、台座には子どもの法名が書かれています。



かみかな や はちまんじんじやせきぞう た そうとう
④0 上金屋八幡神社石造多層塔

指定：市登録 建造物
所在：丸岡町上金屋八幡神社

笏谷石製の石塔の残欠で、基礎と塔身の一部が残っています。刻銘より、文永3年(1266)に建てられたことが分かっています。



つぼかわ けいじゆうたく
④1 坪川家住宅

指定：国重要文化財 建造物
所在：丸岡町上竹田

江戸時代中期に作られた民家です。屋根に特徴がある福井県内最古の古民家で、近世の豪農の生活様式を知る上で貴重な建物です。



※ P16、⑮にも解説あり

有形民俗・史跡・天然記念物マップ



番号	文化財名 (複数の場合は保管場所及び主な文化財名)	所在地	解説
①	丸岡藩砲台跡	三国町 梶	P13
②	東尋坊	三国町 宿～浜地	P13
③	瀧谷寺庭園	三国町 滝谷 瀧谷寺	P13
④	性海寺 (森田家歴代墓所ほか)	三国町 南本町 性海寺	P13
⑤	西谷遺跡	三国町 西谷	P13
⑥	木部西方寺のオニヒバ	春江町 木部西方寺	P13
⑦	中庄のヤブツバキ	春江町 中庄 神明神社	P13
⑧	桃田家のシイ	春江町 針原	P14
⑨	汗かき地藏	春江町 西長田	P14
⑩	藤鷲塚のフジ	春江町 藤鷲塚	P14
⑪	黄楊の旧跡	春江町 寄安	P14
⑫	新田義貞公墓所	丸岡町 長崎 称念寺	P14
⑬	川上古墳	丸岡町 川上	P14
⑭	椀貸山古墳	丸岡町 坪江	P14
⑮	女形谷のサクラ	丸岡町 女形谷	P14
⑯	渡辺泉龍碑	丸岡町 女形谷 直乗院	P15
⑰	てんのう堂	丸岡町 女形谷	P15
⑱	実盛池	丸岡町 長畝	P15
⑲	霞のタブノキ	丸岡町 霞町	P15
⑳	本多家歴代墓所	丸岡町 巽 本光院	P15
㉑	蓑笠庵梨一の墓	丸岡町 石城戸 台雲寺	P15
㉒	有馬家歴代墓所	丸岡町 篠岡 高岳寺	P15
㉓	護城山八十八ヶ所霊場跡	丸岡町 田屋	P15
㉔	豊原寺跡	丸岡町 豊原	P15
㉕	瑩山禅師誕生地	丸岡町 山崎三ヶ 多禰神社	P16
㉖	銭瓶古墳	丸岡町 山崎三ヶ	P16
㉗	教徳寺のヒイラギ	丸岡町 寄永 教徳寺	P16
㉘	笹原家のラカンマキ	丸岡町 上久米田	P16
㉙	東二ツ屋のスタジオ	丸岡町 東二ツ屋	P16
㉚	六呂瀬山古墳群	丸岡町 上久米田	P16
㉛	坪川氏庭園	丸岡町 上竹田	P16
㉜	吉谷寺跡	丸岡町 吉谷	P16

① 丸岡藩砲台跡

指定：国指定 史跡
所在：三国町梶

丸岡藩が幕末の1852年に海防のために築いた砲台です。外面は土砂、内面は石垣で築かれ、5個の砲眼が開いています。



② 東尋坊

指定：国指定 名勝天然記念物
所在：三国町宿～浜地

三国町の海岸線約8kmに広がる海食地形です。約1300万年前の火山活動で形成されました。もともと地中にあったものが、隆起と海食により地表面にあらわれたものです。



③ 瀧谷寺庭園

指定：国指定 名勝
所在：三国町滝谷瀧谷寺

本堂から観音堂の背後東北部にかけての台地の斜面に築かれた、約1700㎡の山水型庭園です。平地部が少なく建物の縁に沿って約100㎡ほどの細長い庭園池があります。



⑧ 桃田家のシイ

指定：市指定 天然記念物
所在：春江町針原

樹高約15.5m、樹齢300年以上のスタジイの老木です。明治六年の農民一揆の槍跡や戦争中の救荒食になるなど、地域の歴史に深く関わってきました。



⑨ 汗かき地蔵

指定：市指定 有形民俗
所在：春江町西長田

高さ約90cmの石製の地蔵で、室町時代の作といわれています。不吉な事が起きる前に地蔵の表面が濡れ、汗をかいたようになると伝えられています。



④ 性海寺所有の指定文化財

- 文化財名(指定)
1, 森田家墓所(市指定 史跡)
2, 竹内藤右衛門の墓と韃靼漂流者供養碑(市指定 史跡)

所在：三国町南本町

1, 中世以降三国を代表する豪商として栄えた森田家の墓所です。墓は全て五輪塔で、三カ所に分かれて安置されています。
2, 江戸時代前期の1644年に新保浦を出航し遭難。中国北東部に流れ着き、当地で殺された船頭竹内藤右衛門の墓と、船員の供養塔です。



1, 森田家墓所



2, 竹内藤右衛門の墓と韃靼漂流碑

⑤ 西谷遺跡

指定：県指定 史跡
所在：三国町西谷

弥生時代後期～古墳時代前期の集落遺跡です。堅穴式住居跡8棟、掘立柱建物跡1棟が検出されました。現在は埋戻し保存されています。



⑩ 藤鷲塚のフジ

指定：県指定 天然記念物
所在：春江町藤鷲塚

幹周り約1.75m、県内の山藤ではまれにみる大木です。藤棚を整備し保護を行い、毎年四月下旬～五月上旬頃に花をつけます。



⑪ 黄楊の旧跡

指定：市指定 史跡
所在：春江町寄安

親鸞聖人の黄楊伝説に由来する史跡です。江戸時代の本「二十四輩順拝図会」等でも紹介されています。



⑫ 新田義貞公墓所

指定：県指定 史跡
所在：丸岡町長崎称念寺

南北朝時代の1338年に藤島庄灯明寺で戦死した新田義貞の墓所です。墓の五輪塔は江戸時代に福井藩主が建てたものです。



⑥ 木部西方寺のオニヒバ

指定：県指定 天然記念物
所在：春江町木部西方寺紀倍神社

神社の社殿東側前方にあります。目通り約3.43m、樹高約19.5m、樹齢約400年と、県内でもまれに見るヒノキ科の老樹です。



⑦ 中庄のヤブツバキ

指定：市指定 天然記念物
所在：春江町中庄神明神社

目通り約1.3m、樹高約5m、樹齢400年以上と、市内にあるヤブツバキのなかでは、かなりの大木です。



⑬ 川上古墳

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町川上

古墳時代後期の横穴式石室の石組みのみが残っています。高さ約2mの石2つで長さ1.5m、幅1.3mの天井石を支えています。



⑭ 椀貫山古墳

指定：県指定 史跡
所在：丸岡町坪江

横山古墳群の南端にある、古墳時代後期の前方後円墳です。全長約45mで、埋葬施設は石室を持つ、横穴式石室です。



⑮ 女形谷のサクラ

指定：県指定 天然記念物
所在：丸岡町女形谷

根回り約9.5m、樹高約15.5m、県内でも有数のエドヒガンの老樹で、三月下旬～四月上旬頃に薄桃色の花をつけます。



16 わたなべせんりゅうひ 渡辺泉龍碑

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町女形谷 直乗院

江戸時代に丸岡藩主本多成重の許可を得て、丸岡町東二ツ屋から山久保まで新江用水を開削した渡辺泉龍の功績を顕彰した碑です。



17 てんのう堂 どう 天のう堂

指定：市登録 史跡
所在：丸岡町女形谷

継体天皇(男大迹王) 伝承地のひとつです。この地で大和から来た使者と会見をしたという伝承があります。



18 さねもりいけ 実盛池

指定：市登録 史跡
所在：丸岡町長畝

源平合戦で名高い斉藤実盛に関する伝承地です。近くの集落内には実盛の木像を安置した、実盛堂があります。



25 けいざんぜんじ たんじょうち 瑩山禅師誕生地

指定：市登録 史跡
所在：丸岡町山崎三ヶ多禰神社

鎌倉時代の曹洞宗の僧瑩山紹瑾の誕生地と伝えられています。瑩山は、下級武士や商人に禅宗の普及を行いました。



26 ぜにがめこふん 銭瓶古墳

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町山崎三ヶ

フクイカントリークラブゴルフ場内にある古墳です。古墳時代後期の横穴式石室の天井石と側壁が露出しています。



27 きょうとくじ 教徳寺のヒイラギ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町寄永教徳寺

教徳寺の中庭に生える、目通り約1.9m、樹高約10m、樹齢約400年と、県内のヒイラギの中では稀にみる大木です。秋には乳白色の小花をつけます。



19 かすみ 霞のタブノキ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町霞

目通り約4.2m、樹高約14mあり、樹齢は不明ながら丸岡城下の樹木景観の中心的存在です。



20 ほんだ けれきだい ぼしよ 本多家歴代墓所

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町巽本光院

江戸時代初期の丸岡藩主本多家の墓所です。重次(初代の父)成重(初代)重能(2代)重昭(3代)の五輪塔墓碑があります。



21 さりゅうあんりいち はか 衰笠庵梨一の墓

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町石城戸台雲寺

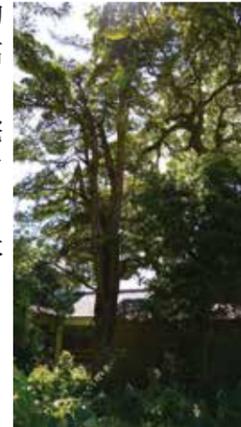
江戸時代に丸岡俳諧の基礎を作った衰笠庵梨一の墓です。墓は明治時代に門弟が作り、生前の功績を伝えています。



28 ささほらけ 笹原家のラカンマキ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町上久米田

笹原家の裏庭に植栽された、雌木で、目通り約1.7m、樹高約15mあります。個人宅に植栽されている樹木では、稀に見る大木です。



29 ひがしふたつ や 東二ツ屋のスダジイ

指定：市指定 天然記念物
所在：丸岡町東二ツ屋白山神社

白山神社の神木です。根回り約23.6m、樹高約10mあり市内のスダジイでは最大級の巨木です。



30 ろくろく せやまこふんぐん 六呂瀬山古墳群

指定：国指定 史跡
所在：丸岡町上久米田

古墳時代前期～中期の前方後円墳と方墳、各二基からなる古墳群です。一号墳は全長約140mあり、北陸地方では最大級です。



22 ありま けれきだい ぼしよ 有馬家歴代墓所

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町篠岡高岳寺

江戸時代前期の1695年から幕末まで丸岡藩主であった有馬家の歴代墓所です。藩主とその妻の墓が12基あります。



23 ごじょうざんはちじゅうはちかしよれいじょうあと 護城山八十八ヶ所霊場跡

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町田屋

江戸時代後期の1835年、丸岡藩士福島長太夫義衛の母恵喜子が四国八十八ヶ所に模して作った霊場です。



24 とよはらじ あと 豊原寺跡

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町豊原

奈良時代に泰澄大師によって開かれたと言われ、中世には勝山市の平泉寺と共に隆盛しましたが、1574年に織田信長に焼き払われました。



31 つばかわし ていえん 坪川氏庭園

指定：国登録 記念物
所在：丸岡町上竹田

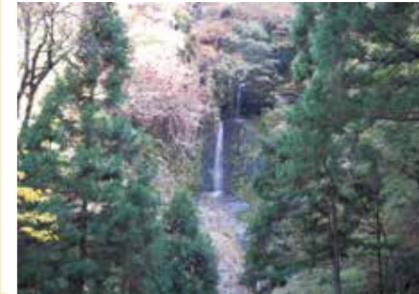
屋敷東側の主庭園と屋敷西側の西庭園を中心とし、巨樹・屋敷林が良好な景観を保っています。また、谷奥より屋敷内に清流を引き込み、生活や庭園池泉用の水としています。



32 よしたに じ あと 吉谷寺跡

指定：市指定 史跡
所在：丸岡町吉谷

中世に豊原千坊・小野千坊と共に「豊原三千坊」と称された吉谷千坊の跡です。現在は山中に仏堂と神社が残っています。



無形民俗文化財



②海女唄



④三国節



⑥いざぎ



⑦越前打込み太鼓



①なんばや踊り唄



③火の太鼓



⑤三国祭



⑩日向神楽



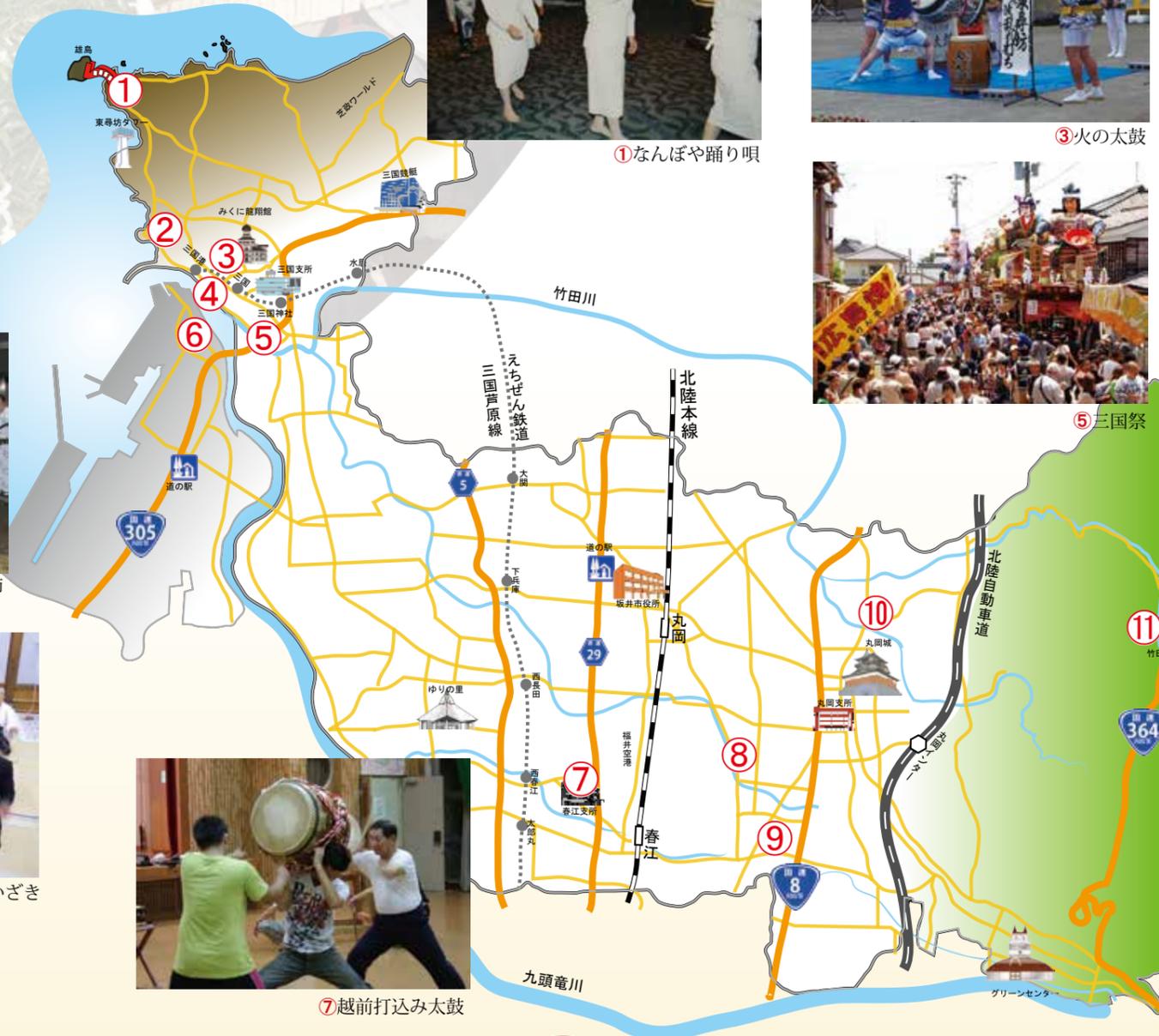
⑪竹田じょんころ



⑧舟寄踊



⑨表児の米



祭りの主な公開日等

1月

⑥いざぎ (市指定)
公開日…一月十五日
公開場所…新保春日神社

5月

⑤三国神社例大祭「三国祭」(県指定)
公開日…五月十九・二十一日
公開場所…三国神社周辺

6月

③火の太鼓 (市指定)
公開日…六月第三日曜
公開場所…瀧谷寺
三国神社の例大祭で、中日の二十日には、神社関係一行と大小の神輿、計六基からなる山車が町内を巡行します。

8月

①なんばや踊り唄 (県指定)
公開日…八月十四・十六日
公開場所…安島区
ゆるやかなテンポの古風な盆踊りです。海運従事者が多かった江戸時代の安島住民の様子を素朴に唄っています。

⑧舟寄踊 (県指定)
公開日…八月十五日
公開場所…舟寄区
北陸街道の宿場町舟寄の盆踊りで、起源は姉川の合戦に出陣する領主の武運長久を願い踊ったと伝えられています。

⑪竹田じょんころ (市指定)
公開日…八月十五日
公開場所…竹田地区
竹田地区の盆踊りで、哀愁漂うひなびた節回しと、腰を低く落としながら身をくねらせて一斉に下がる仕草が特徴です。

9月

⑨表児の米 (県指定)
公開日…九月十四日以降の最初の土曜
公開場所…北横地 布久漏神社
布久漏神社の神事で、初穂米を音頭に合わせ杵でつき、十郷用水の恵みと収穫の感謝、五穀豊穰を祈ります。

⑩日向神楽 (県指定)
公開日…九月第三王曜夜七時～・日曜昼二時～
公開場所…長畝八幡神社神楽殿
元禄八年(一六九五)延岡より国替えとなった有馬清純公が、随行した舞人に祭礼で奉納させた事に由来します。

②海女唄 (市指定)
公開日…九月第三王曜
公開場所…米ヶ脇白山神社
少なくとも江戸時代より海女に歌い継がれてきた、テンポが極めて緩やかで古風な唄(踊り)です。

定めず

④三国節 (市指定)
三国に伝わる座敷唄です。冒頭と末尾を「やしゃでやのしゃで」と唄うため「やのしゃ」とも呼ばれます。八月末に行われる帯のまち流し等で公開されています。

⑦越前打込み太鼓 (市指定)
春江町一円に伝わる伝統的な太鼓で、二人一組になり、一人が短いバチ二本で拍子を取り、もう一人が力強く打ち込みます。

※公開日は変更になっている場合もありますので、事前にご確認ください。

天然記念物（動物及び生息地）



天然記念物 ヒシクイ

オスは全長 90cm、メスは全長 75cm になるカモ科の渡り鳥で、冬に飛来します。水生植物のマコモやヒシ、稲の落ち穂や二番穂、草などを採食します。

(組頭五十夫氏提供)



天然記念物 マガン

全長約 70cm になるカモ科の渡り鳥で、冬に飛来します。イネの落ち穂や二番穂、草などを採食し、坂井平野の水田地帯で群れが見られます。

(組頭五十夫氏提供)



天然記念物 アラレガコ生息地

体長約 15cm に成長するカジカ科の魚類で、和名はカマキリと言います。九頭龍川のアラレガコは体長 20cm 以上の大型になるため、大野市花房（阪谷橋）～福井市舟橋（中角橋）までの生息地が指定され保護を図っています。



特別天然記念物 ニホンカモシカ

体長約 1～1.5m、ウシ科の哺乳類です。雌雄共に短い角を持っています。丸岡町竹田地区などで目撃されています。

坂井市の文化財－改訂 2 版－

平成 27 年 3 月 31 日

編集・発行：坂井市教育委員会 文化課

Tel : 0776-50-3164 Fax : 0776-66-2935

E-mail : bunka@city.fukui-sakai.lg.jp